

ES...OKONOMIYAKI !!

— 見よ！これが広島の誇り、お好み焼きじゃあ〜！！ —

例のソース、使いました!!



お好み焼きといえば「例のソース」が欠かせない。これは日本国万人の共通認識なのではないかと、私なんかは勝手に思っておりますが、実は今回使用した「例のソース」はすべて、「例の会社」から、無償で提供して頂いていたのだそうです。おかげ様でリピーターも続出でした。さすが、オタフ...ごによごによごによ...笑



「私、しっかり働いています！」と言わんばかりの満面の笑みですが、本当は昼過ぎあたりで誰より先に飢えて文句たれの戦力外になってました、ごめんなさい(笑) そんなウ○コな井上に、とある心優しい友人が沖縄県人会さんのサーターアングギーを買い与えてくれたので息を吹き返したところです。好きです、サーターアングギー。ちがった、好きです、友。(笑)



Asociación
México
Japonesa

(日墨協会) 春祭り

4月30日、私は日墨協会主催の春祭り(@日墨会館, CDMX)に参加させていただき、「広島県人会メキシコ」の方々と一緒にお好み焼き約500枚を振る舞いました。広島県は全国第一位の移民送出県。戦前戦後あわせておよそ11万もの方々が、アメリカ、カナダ、メキシコ、ドミニカ共和国、その他様々な国に移住してきたという歴史をもちます。そうして現在、広島県にルーツをもつ多くの日系人が、ここメキシコでも様々な活躍されているのです。私はメキシコに着いたその日から県人会の方々に世話になりっぱなしなので、この日は少しでもお手伝いできてとても嬉しかったです。

さて、この日来場者は約1万人にのぼり、途中で入場券が切れてしまうほどの大盛況。いかに多くのメキシコ人が日本の文化や日本食に興味をもってくれているのかを改めて実感しました。お好み焼きをせっせと焼いていると、メキシコ人のお客さんからは幾度となく、「あのう、お好み焼きって、何ですか??」と不思議そうに尋ねられます。けれど私としたことが、実は今まで、お好み焼きに対してそんな根源的で真摯な問いを打ち立てたことがなく、返事には大層困ってしまいました。

「ええと...お好み焼きは広島料理で、野菜と肉を、小麦のトルティージャ(笑)と卵で挟んで焼いて、
その上に美味しいサルサソース(?)をかけたもの...ですかね👉」

ああ...なんと冴えない解答でしょう。大学帰りにあれだけ食べておきながら、「私、お好み焼き大好きです！」などとほざいておきながら、私はお好み焼きに対して、なんと不誠実な向き合い方をしてきたのでしょうか。私はこれまでの人生を随分と後悔致しました。あとで県人会の方から伺ったことなのですが、広島のお好み焼きって、戦後の食料不足の中でなんとか手に入った僅かなキャベツと小麦を、焼け跡から拾った鉄板で焼いたのが始まりなんだとか!! ...ま、私が「え!!!本当ですか?!」と尋ねたら、にやにや笑いながら「歴史に“本当かどうか”なんて聞くもんじゃないよ、そう言っときゃ、“いい感じ”じゃないか。(笑)」みたいなことを仰っていましたけどね。名言ありがとうございます。お好み焼きからこの世の真理を学んだ心地であります。でも本当に、追加でこういうちょっと気の利いた(?)ことが言えてたら、きつともっと楽しんでもらえたのに。くっそー、やっぱり井上はまだまだニーニヤだわ! 笑 味は文句無しだったとおもいますがね👉 広島のお好み焼きですから👉 うまいに決まっとるわい👉 ふんふん(鼻息)

ところで自分でもビビるくらいに話がぶっ飛びますが、ついに先日、奨学金を頂いている

CONACYTから「今期研修生の帰国は8月頭の予定よ、うふふ」という悲しいメールを拝受しました。思ったより早い...。いよいよこの研修もまとめ時に入ってしまったのであります。



悲しんでいる暇はないのでございます。別に泣いてないもんあーしくしく。やり残すことがないよう、これまで通りしっかり勉強してしっかり遊んで、そしてなにより、メキシコの友人達とできるだけゆっくり、たくさんのお話を話しておきたいと思えます。毎日を大切に!!